

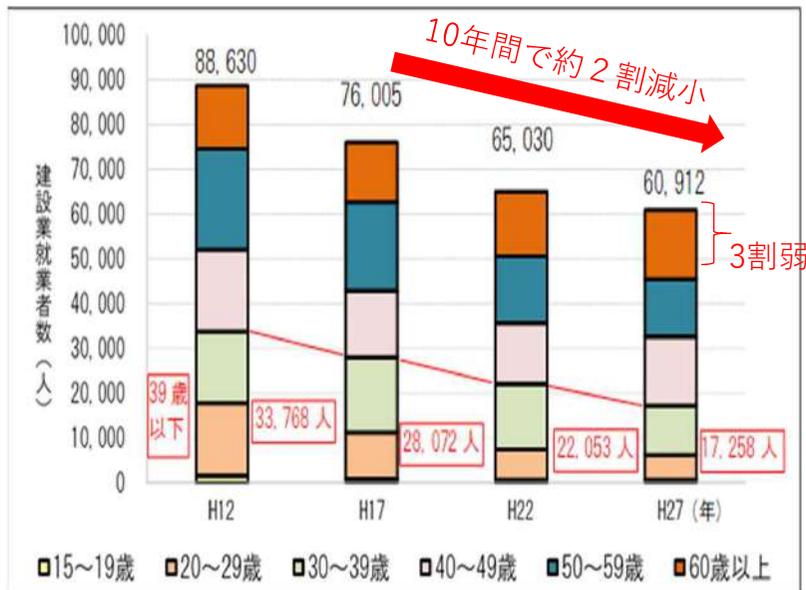
建設業の担い手確保について

少子高齢化によって生産労働人口が減少していく中、建設業の担い手を確保するには、**求人活動**の促進はもとより、建設業の**労働環境改善**（特に若者や女性が活躍しやすい環境整備）、建設現場の**生産性向上**などの働き方改革が急務となっている。

現状

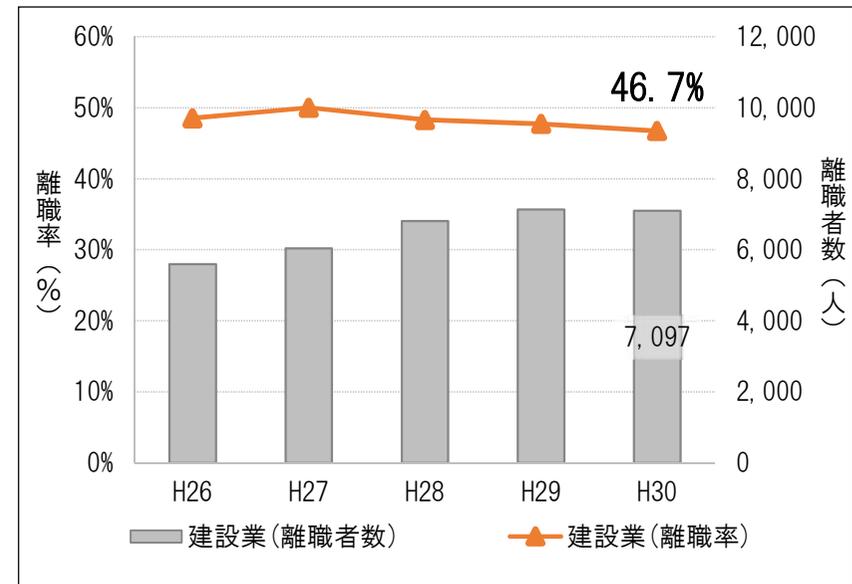
- 県内建設就業人口の減少が深刻（若者の建設業離れと就業者の高齢化）
- 60歳以上**の建設従事者は全体の**3割弱**を占めており、10年後にはその大半が引退することが見込まれる。
- 建設業の高卒就業者（全国）は、その**約5割弱が3年後**に離職している。

県内建設業就業者数



出典：総務省「国勢調査」

建設業の新規高校卒就業者の3年目までの離職状況



出典：厚生労働省「新規学校卒業就業者・離職状況調査結果」

入職・定着しない原因

<<若年就業者の主な離職理由>>

- ①自分がやりたい仕事とは異なる内容だったため
- ②休日・休暇・労働時間の条件が悪かった
- ③賃金の条件が良くなかったため
- ④キャリアアップするため

出典：独立行政法人 労働政策研究・研修機構
第2回若年者の能力開発と職場への定着に関する調査

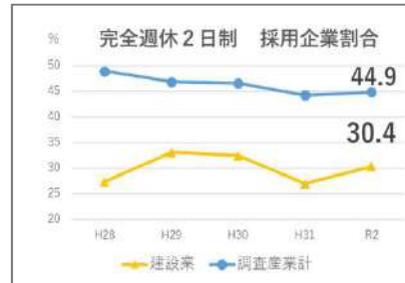
①建設業への理解

建設業への理解不足による
ミスマッチ。

- ・建設業のやりがいや魅力が伝わっていない。
- ・入職前のイメージと実際の業務とのギャップがある。

②休日の状況

完全週休二日の導入率は
全産業に比べ10%以上低い。



出典：「厚生労働省」就労条件総合調査

②労働時間

県内建設業の年間総実労働時間は全産業に比べ年間300時間以上多い。



出典：三重県「毎月勤労統計調査」

③④技能労働者の処遇

身に着けた能力や経験に応じた処遇が無い。

- ・適切な賃金水準の確保が必要。
- ・キャリアアップをしていく制度が無い。

入職・定着への取組

魅力発信

- ・現場見学会
- ・出前授業
- ・女性技術者と女子学生の交流会など

休日の確保

- ・週休2日制工事の推進

長時間労働是正

(生産性の向上)

- ・施工時期の平準化
- ・ICT活用工事の促進

処遇改善

- ・最新の実勢価格を設計労務単価へ迅速に反映
- ・建設キャリアアップシステム (CCUS) の活用等

令和3年度 魅力発信の取組

しっかりと建設業の魅力を発信出来るようSNSを活用するとともに、コロナ禍においても参加者の分散などにより三密を回避しながら感染防止対策を徹底し、「現場見学会」「出前授業」「女性技術者と女子学生の交流会」などを開催します。

建設業 魅力発信事例

事例① 現場見学会



小学校屋内運動場
建築現場見学



ドローン操作説明

事例② 事業効果PR看板

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策を実施中！
洪水被害を防ぐため、鳥羽河内ダムの建設を進めています。

【鳥羽河内ダム《洪水型ダム》の目的】
大雨の時に降った雨を一時的にダムにためることで、下流に流れる水を減らし、洪水被害を防ぎます。
(計画流量300m³/秒のうち240m³/秒の洪水調節を行います。)

国土強靱化対策で流域治水の取組を進めています。

流域治水プロジェクト（イメージ）

流域治水とは、河川流域、産業域の関係者すべてのみなさんが協力して、水害を減らそうとする取組みのことです。

ダムで洪水が
防げるんだ！



地元中学生

事例③ HP・Twitter



地域の安全・安心を担う建設業 vol.1

家畜伝染病発生時の緊急対応

令和3年4月13日に津市で豚熱が発生し、県との防疫協定による要請を受けた三重県建設業協会津支部の建設企業（延べ238人）が昼夜を問わず迅速に対応し4月23日に作業を完了しました。



防疫作業は、スピード感が求められるため、埋却溝の掘削等には地域の建設企業の機動力が必要不可欠です。



作業員は、慣れない防護服を着用し殺処分された家畜の運搬・埋却作業を行っています。心身ともに疲労を伴う作業ですが、建設業の社会的使命として奮闘しています。

建設業は、いつ、どこで発生してもおかしくない家畜伝染病や災害発生に迅速に対応し、県民の安全・安心を下支えする役割を担っています。防疫対応に携わった建設企業の皆様へ感謝申し上げます。

建設業が地域の守り手としての役割を従来にわたって担えるよう「第三次三重県建設産業活性化プラン」の取組を推進しています。

秋田県建設産業担い手確保育成センター（H29.9開所）

建設産業担い手対策の中核的機関として全国初の取組

- 2017年9月1日に秋田県建設部建設政策課内に設置
- 担い手確保育成推進員を配置し、高校や業界と連携
- 若者と女性をターゲットとする事業をワンストップで実施



【センター体制】

- センター長
(建設政策課長)
- 正職員(5名)
- 推進員(2名)



実績1「女性活躍」



クローバー設立総会(BABAMEBASE)

平鹿建設業協会女性部「SAKURA」が誕生(2017年)

- 県内初となる建設女性ネットワークが平鹿地域で誕生
- 2018年には、「はなこまち(雄勝)」・「HANAMARU(仙北)」
「わかば(北秋田)」・「能代山本アテナ(能代山本)」が誕生

あきた建設女性ネットワーク「クローバー」を設立(2018年)

- 地域の垣根を越えた全県組織「クローバー」を設立(87名)
- SAKURA等をサポートしながら、他県との交流事業も実施

実績2「高校連携」



建設企業出前説明会(大曲工業高校)

「担い手確保育成推進員」による高校・企業訪問

- 工業高校教員経験を活かして高校を訪問(年100回ペース)
- 高校・業界と連携して建設企業出前説明会を開催
- 企業訪問も行い、新卒確保の「コツ」を収集・助言

高校生向け学科試験対策講座(土木・建築)の開催

- 技術者資格「施工管理技士」学科試験の合格をサポート
- 普通高校の生徒も合格し、県内建設企業に就職
- 2018年から生徒と若手社員と一緒に受講する講座へ拡大

実績3「ICT拠点」



建設ICT総合研修(i-Academy恋地)

ドローン開発拠点「東光雪沢テクノパーク」が始動(2017年)

- 東光鉄工UAV事業部が大館市の旧雪沢小学校に移転
- 産業ドローンの開発を行いながらi-Construction教習を実施
- 大雨・暴風など災害発生時に飛行できる防水ドローンも開発

建設ICT研修拠点「i-Academy恋地」が始動(2018年)

- 五城目町のBABAMEBASEと恋地スキー場に拠点を形成
- 全国随一の規模・内容で建設ICT総合研修を定期開催
- 女性限定研修会や子ども向け建設ふれあいフェア等も開催

